

国内工場立地の動向について

- ・ 2003年の製造業の国内工場立地件数は24.8%増(前年比)。加工組立型製造業の増加が寄与。国内工場立地再開の背景は3つ。
①海外設備投資の一巡、②好調な国内景気、③国内外棲み分け。
- ・ 「モジュール化」ごとに研究開発が可能であった電気機械業はアジアにモジュールを集めて組み立てていたが、その過程で技術が流出し競争力が失われた。
こうした過去の経験を踏まえ技術流出を防ぎつつ、拡大するアジアの販売市場を開拓するという考えのもと、同業界は「製造過程の自動化」や「ブラックボックス化」、「企業提携」などにより国内外の棲み分けを図っている。国内工場立地は技術流出防止対策の一手段。
- ・ このような背景による国内工場立地再開は、日本の製造業の日本を含めたアジア域内での経営資源の最適配置の一環と位置づけられる。こうした視点から国内に工場を立地する企業が今後増加すると見られる。